連載・第10回

神戸夫人

武田繁太郎
え・青木一夫

短大時代の同窓の木島夫人から、ひさしぶりに電話がかかってきた。

「ごぶさた。お元気？　ええ。あたしのほうもあいかわらずよ。じつはね、きょうは、めずらしい人をお連れしようと思って。ご都合、いいかしら？」

「ええ。きょうはずっとうちにいるけど、いったい、どなた？」

「横山久美子さん。旧姓、鳩山さん」

「まあ、鳩山久美子さん？　なつかしいわ」

「でしょう？、あたしもね、何年ぶりかでお会いしたんだけど、いま、めぼしいお友だちの方を紹介してあげてるのよ」

「紹介って？」

「ええ。じつはね、久美子さん、ポール化粧品のセールスをなすっていらっしゃるのよ」

「まあ、あの方が？」

「そうなのよ。なんでも旦那さまのお仕事がうまくいかなくなったとかで、彼女、はりきってアルバイトをはじめたってわけなの」

「まあー」

本堂夫人は、送受器にむかって、「まあ」の連発だった。

「まあ！」

「でもね、ポール化粧品っていえば、一流品で、かなりお高いでしょう。紹介するにしても、どなたにも、というわけにもいかないのよ。でね、高級品でも自由にお使いになれる方だけを選んで、お世話してあげようと、それで、まず、あなたに白羽の矢をたてたのよ」

「そう。そうだったの」

「あなた、お化粧品は、なにをお使いになってらッしゃるの？　舶来品？」

「ううん。あたしはお化粧品なんかには、あんまり関心がないのよ。宝生堂一点張りよ」

「あら、ご謙遜でしょう。宝生堂なら一流品じゃないのでも、おなじ一流品なら、ポールを使ってあげてよ」

「そうね――。久美子さんがセールスしていらッしゃるんなら、おことわりもできないわね」

「じゃ、ぜひお願いするわ。あたしもひさしぶりにあなたにお会いしたいし、それじゃ、午後、ふたりでおうかがいするわ」

「ええ。どうぞ。お待ちしてるわ」

本堂夫人は、愛想よく言ったが、送受器をおいたときには、ちょっと複雑微妙な面持ちになっていた。

「それにしても、あの久美子さんがねえ？信じられないような話だわ――」

それからも、本堂夫人は、いくどもおなじつぶやきをくりかえしていた。

じっさい、〝鳩山久美子〟がポールのセールスをはじめたなんて、ウソみたいな変りかただった。

短大時代、鳩山久美子といえば、クラスきっての才媛だった。あたまはいいし、そのうえ、美人だし、劣等生にちかい本堂夫人など、ちかよりがたい存在だったのである。むろん、結婚も、みんなが羨しがるほど、華やかなものだった。旦那さまは、アメリカ帰りの若い貿易商で、オリエンタル・ホテルで派手な結婚披露をすますと新婚旅行にはハワイへとしゃれこんだ。

いっぽう、本堂夫人はといえば、平凡な娘らしく、平凡な見合い結婚をして、平凡な新婚家庭をつくっていったあれから十年。本堂夫人のほうは、良人の本堂氏が見かけによらず才能があったらしく、コツコツと地道に昇進していって、いまでは、S電機の第一販売課長になりイキのいい第一線社員として、バリバリと活躍している夫人にしてみれば、まことにうれしい見込み違いだったわけだが、子供は一人しかなく、去年の暮れにはボーナスが三十万円あまりでて、目下は、ちょっとホクホク顔のさいちゅうであった。

（ほんとに、人間ッてわからないものだわ）

あんなに幸福な結婚をしたはずの横山夫人が、どうやら、旦那さまの事業の失敗で、だいぶ困っているらしくそんな彼女と自分との運命の変貌ぶりを考えると、本堂夫人は、なんだか甘酸ッぱいような、一種優越感のこもった感慨にふけらざるをえなかった。

そうこうしているうちに、やがて、午後になり、約束どおり、むかしのふたりの仲間が、本堂家の玄関のベルを鳴らした。

「さあさあ、どうぞ。ほんとにひさしぶりね。なつかしいわ」

本堂夫人は、玄関にとんでていったが、ポーチに立っている横山夫人を一瞥したとたん、なんだかがっかりしたような、そして、ほっとしたような、変んてこな気分におそわれた。

どうせ生活苦からみすぼらしくなっているにちがいない、と想像していたのに、案に相違して、横山夫人は、しゃれたハーフ・コートに、すらりとしたスラックス姿で、その軽快なスタイルに劣らず、顔だって、むかしどおりの美貌だった。いや、そのきりりとひきしまった面差しには、娘時代にはみられなかった、女ざかりの色気がしっとりとにじみでているようだった。

「きゅうにうかがって、ごめんなさいね。木島さんが親身になってお世話してくださるんで、ほんとに感謝しているのよ」

そう言う横山夫人は、少しもわるびれたふうもみせずむしろ、堂々たる態度だった。

本堂夫人は、木島夫人に言ったように、じっさい、しゃれっ気というものを、あんまり持ちあわせていなかった。

もともと、娘時代から、自分の顔には自信がなかったので、そんな自信のないご面相に、ゴテゴテとお化粧をほどこしたって、ほとんどまったく効果は期待しえないと、半ばあきらめていたのである。

夫人が、化粧品の選択に神経を使わなかったのも、そのせいであったが、しかし、横山夫人がスーツ・ケースみたいなカバンのなかから、ポール特選のモロモロの高級化粧品をとりだして、並べたてると、夫人は、きゅうにモリモリとファイトのようなものを燃やしはじめた。

（そうだわ。わたしだって、もうこんな化粧品なんか、いくらでも使える余裕があるんだわ。ひとつ、気前のいいところを、大いにみせなくッちゃ）

それは、学生時代から横山夫人に植えつけられたコンプレックスを、ここで一挙に吹きとばそうとする。本堂夫人の女性らしい反発と復讐だったかもしれない。

「これは、こんど発売になった栄養クリームですのよ。とってもお肌が美しくなるって、大好評ですわ」

「そう。いい匂いね。これ、おいくら？」

「ちょっとお値段が張るんですけど、五千円ですのよ」

「そう」

かるくうなずきながら、本堂夫人は、内心、どきりとした。いま彼女が使っているのは千円の宝生堂だ。だが値段をきいた以上、あとにひくわけにはゆかぬ。

「じゃ。これ、頂いとくわ。それとね、ちょうどコールドがなくなりかけているんだけど、いいのない？」

「ございますわ。これ。ポールが自信を持って、おすすめしている品ですのよ。いちど、宝生堂のコールドと比較してみてくださらない？　きっとご満足頂けると思いますわ」

「そう。じゃ、使ってみるわ。いくら？」

「このほうは、三千円ですのよ。それと、洗顔クリームはいかが？　これは、お勉強品で千五百円ですのよ」

「そうね。どうせポールのものを使うなら、統一したほうがいいわね。頂くわ」

本堂夫人は、なんだかもうヤケクソみたいにうなづいてしまったが、そこで、また、取りだされたのは、金色にひかった幾本かの棒状の容器だった。

「ねえ、本堂さん。このごろは、あたしたちの年配のものでも、アイ・シャドウやノーズ・シャドウが流行ッてるでしょう？　あなたもいちどためしてごらんにならない。きっとお似合いになると思うわ」

「そうよ。本堂さんなら、ぐっとひきたつわ。旦那さまも、あらためて、あなたの美しさをみなおすこと、請合いだわ。さっそく、きょう使って、旦那さまをびっくりさせておあげなさいよ」

木島夫人も、そばから加勢する。

（ええい。もうどうにでもなるといいわ）

と、本堂夫人は、言われるまま、一本五百円のアイ・シャドウとノーズ・シャドウ、それに、頬紅と口紅まで買ってしまった。しめて、一万千三百円也の買物になってしまった。

それから、午後のひととき、三人の夫人たちは、学生時代のむかしにかえったように、さんざにぎやかなおしゃべりをたのしんだあと、やがて、たそがれどきが近づいたので、横山、木島両夫人は、本堂家を辞していった

「おかげさまで、きょうはいろいろ買って頂いて、ほんとうによかったわ。また、なくなりかけたころを見計って、おうかがいしますから、ぜひよろしくね」

「ええ。いいわ。これからは、化粧品はポールにきめるから、いつでも、どうぞ」

本堂夫人はおうように言って、ふたりを送りだすと、自分の部屋にとってかえし、三面鏡のまえにぺったりと座りこみ、さっそく、ポールでお化粧をはじめていった。

鏡に写る自分の顔が、なんだかとっても晴れがましそうである。いつもより、美しくさえ感じられる。

むりもない。夫人は、生れてはじめて、いっぺんに一万一千円もの豪華な化粧品の買物をしたのである。それも、かってはあの気位の高い、才媛の名をほしいままにした横山夫人から、ペコペコといくどもお辞儀をされながら、である。

夫人は、たいへんいい気持だった。一万円の出費は、正直言って、ちょっとおしい気もするが、しかし、それ以上に、彼女は、無形のものを手にすることができたのだ。それは、横山夫人にたいする、ゾクゾクするような優越感だった。彼女は、勝ったのだ！

（そうだわ。きょうは、少し濃い目に、アイ・シャドウとノーズ・シャドウをして、彼に濃艶なところをみせて、びっくりさせてやりましょう）

夫人は、張り切って、薄墨色をしたノーズ・シャドウを、あんまり高くはない鼻の両わきに塗りこんでいっただが、生れてはじめて使うノーズ・シャドウは、なかなかうまく描けなかった。

鏡のなかの顔が、なんのことはない、小鼻のあたりにかけて、新聞紙でハナをかんだみたいになってしまった。

「ああ。これじゃ、駄目だわ」

夫人は、もういちど、やりなおしてみた。

だが、結果は、ますますいけない。まるでノーズ・シャドウが、夫人をからかっているみたいに、うまく言うことをきいてくれぬのだ。

「ああ、駄目だわ！」

夕食の支度がひかえているし、夫人は、イライラして泣きだしたい気持ちになった。

すると、ふと、夫人の胸中に、黒い雲のような、厭な連想がムクムクと湧きあがってきた。

（もしかしたら、あたしが勝ったと思ったのは、あたしの錯覚だったかもしれない。そして、いまごろ、こっそりと会心の笑みを浮べているのは、あの横山さんかもしれないわ。あたしの虚栄心をくすぐって、ウマウマと一万円もの化粧品を売りつけてやったって）

そう思うと、ノーズ・シャドウでよごれた夫人の顔は鏡のなかで、ほんとうに泣きべそをかいたようになっていた。

（この項終り）

神戸の催物ごあんない

▶ダニイル・シャフラン・チェロ独奏会
＜2月17日PM6.30開演　主催労音
会費 350円　於神戸国際会館＞

▶琴・尺八と小管弦楽による演奏会
＜2月18日PM6.30開演　主催労音
会費 240円　於神戸国際会館＞

▶ゴールデン・ゲイト四重唱団
＜2月21・22・23PM6.30開演　労音主催
会費 350円　於神戸国際会館＞

▶フィガロの結婚／俳優座公演
＜2月24・25・26日PM6.30開演　労演例会臨時会費 350円　スタッフ／小沢栄太郎永井智雄、滝田裕介、谷育子他
於神戸国際会館＞

▶ベニー・グッドマン楽団
＜3月2日PM6.30開演　S¥2500　A¥2000　B¥1500　C¥1300　D¥1000　E¥1000（今回に限り大阪公演なし）
神戸国際会館＞

▶ハンク・スノウと彼のレインボーランチボーイズ
＜3月3日PM6.30開演　A¥1200B¥800C¥500S¥1600　於神戸国際会館＞

▶歌い踊るパリのこころ／ジジ・ジャンメールルとローラン・プティバレエ団
＜3月10日PM6.30開演　S¥3000A¥2000B¥1200C¥700　於神戸国際会館＞
演出・振付＝ローラン・プティ
衣裳＝イブ・サン・ローラン

▶4大ドラマー世紀の競演
＜出演ドラマー／フイリー・ジョー・ジョーンズ／シエリー・マン／ロイ・ヘインズ／マックス・ローチ　S¥1800　A¥1500　B¥1300　C¥1000　D¥700　E¥500
於神戸国際会館＞

愛読者コーナー

＊ 神戸をはなれて約一年。生れてより四十年間、朝晩接していた神戸がやはり懐しく、神戸のすばらしさを再認識させられています。当分は、神戸へ帰れそうにもありませんので、せめては神戸の香りでいっぱいの「神戸っ子」を読むことでガマンしようとなぐさめています。

（大阪府門真市　大崎泰三）

＊ 毎月「神戸っ子」を愛読させていただいています。僕は神戸っ子ではありませんが、ホーム・タウンの東京に感じの似ている神戸は、大阪では感じられない安らぎを与えてくれるので大好きです。その神戸をテーマにした「神戸っ子」を毎月読むのがとても楽しみです。「神戸っ子」の後援で昨年の八月二十五日に、国際会館で催された後藤剛、宮本直介カルテットのジャズコンサートは、非常に楽しいものでした。其後、このメンバーはどのように活躍されているでしょうか。第二回、第三回…のコンサートを開くのでしたらぜひきたいと思います。（大阪市ソニー勤務　浅見真一）

＊ 小生「神戸っ子」の大ファン。毎月発行される本紙を何回も何回もくり返し読んでいます。特に「神戸と女性」「神戸のこと手当り次第」「神戸うまいもん巡礼」「神戸夫人」など、とても面白い。これからも立派な「神戸っ子」を編集してください。さて小生の郷里は山口県、柳井市ですが、神戸へ出て来て約二年。ずいぶんあちこちと歩いたような気がするけどわかったようでわからないような所がいっぱいのこの神戸という街、それでも魅力がいっぱいで大好きだ。今はもうとても神戸をはなれる気はしない。神戸は不思議な街だ。

（兵庫区　平川健）

発行にいろいろとお世話いただいた方々

安部正夫　嘉納正治　永井達七
青木重雄　木下繁直　木太一郎
朝比奈隆　小磯良平　中西勝
砂野仁　小林芳夫　原口忠次郎
乾豊彦　久保甚太郎　畑専一郎
石野成明　後藤末二　深水惣吉
榎並正一　古林喜楽　福富芳美
牛尾吉朗　阪本勝　松井高男
岡崎真一　白川渥　宮崎辰雄
岡部伊都子　竹中郁　宮地襄二
岡崎忠　滝川勝二　百崎辰雄
小曽根真造　田宮虎彦　若杉慧
大淵ツトム　田村孝之介　山口泰弘
金井元彦　田中寛次　神戸青年会議所
川西英　田中健一郎

編集後記

▽ いつもの年なれば、六甲おろしが吹くはずだが、今年の神戸はまったくの暖冬異変、この調子では寒さ知らずのうちに立春を迎えそうです。

▽ 巻頭の随筆は大変な人気、読者のかたからぜひ続けてほしいと激励をいただき、毎号本格的に掲載することになりました。

▽ 新春放談で、砂野川崎重工社長の、健康投資論が反響を呼んで賛成論者がふえています。今月の神戸っ子放談は、山陽電鉄の深水社長にお願いして、神戸論を語っていただきました。

▽ 神戸の洋菓子は日本一だと、座談会「神戸洋菓子天国」を企画、聞くよりも一度味わいたいとおっしゃる方に、洋菓子クイズをプレゼント。神戸の洋菓子をぜひ賞味いただきたいもの。

▽ 紳士入門が相変わらずの人気で話題をふりまいています。〝新年号のカットあれ、ニジューボオズとちがうか、内容と関係ないし、けったいやなあ、傑作や〟とおほめにあづかることたびたび？

▽ 3月号は「神戸っ子」の3周年記念号です。充実した内容でご声援に応えようと編集室は大いに張切っています。

（小泉）

神戸っ子ごあんない

☆ 月刊「神戸っ子」を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室あてにお申込みになれば、さっそくお送りいたします。

6ヶ月分　六五〇円
1年分　一三〇〇円（送料共）

☆ 月刊「神戸っ子」に紹介されている、神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして「神戸っ子」がおかれています。

☆ 月刊「神戸っ子」をお買い求めの時には左の本屋さんでどうぞ

大丸書籍部　神戸大丸五階
漢口堂三宮店　京町筋角
漢口堂湊川店　湊川商店街
流泉書房　センター街
文洋堂　国際会館1階
日東館　大丸前
第一書房　元町通1丁目
海文堂　元町通3丁目
宝文館　元町通5丁目
甲南堂　国鉄本山駅北口

☆ 月刊「神戸っ子」に広告を掲載して、お店を、又商品をご紹介なさりたい方は、月刊「神戸っ子」編集室へお申込みください。

月刊「神戸っ子」NO・35
発行／昭和39年2月10日
編集・発行／小泉康夫
発行所・月刊「神戸っ子」編集室
神戸市葺合区御幸通8丁目9の1　神戸国際会館1階
TEL㉒7037
頒価90円

きものの袖に桃の花がほんのりと香る
季節。白い足袋に草履のクラッシクな
模様がそっと優しさを漂よわせます
まる喜の履物で春の装いを
お楽しみください

趣味の履物
まる喜
神戸三宮センター街
電話 ③ 四四七八

灘五郷
名醸の誕生

日本一を誇る灘の酒を育てるものに、六甲山系から吹きおろす寒風と灘の宮水がある。

また、杜氏(とおじ)が酒づくりに、心魂を傾ける……

外気が冷え切った真夜中の午前2時頃、白煙をあげて、〝こしき〟があがる。古式の作法に従って、香り高い新酒が醸造され、巨大な樽に納められ静かに時を待つことになる。

撮影・堀内初太郎

コウベでみがく
世界の宝石

直輸入

神戸宝石

トアロード

大丸上ル 300メートル

タニジ

③2397

*宝飾品 Jewel·Pearls

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
①	宝飾	御木本真珠店	Mikimoto Pearls	国際会館1階 (22)0062 International House
②	宝飾	田崎真珠店	Tasaki Pearls	新聞会館寿品街 (22)5646 Kobe Shinbun
③	宝飾	北村真珠店	Kitamura Pearls	元町通二丁目 (31)0072 2-motomachi
④	宝飾	タジマ	Tajima Jewel	元町通二丁目 (31)0387 2-motomachi
⑤	時計と宝石	美田時計店	Mita Watch Shop	元町通三丁目 (31)1798 3-motomachi
⑥	宝飾	神戸宝石	Kobe Jewel	トアロード (31)2397 Tor road

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's shop

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
⑦	紳士服	柴田音吉洋服店	Tailor Sibata	元町通四丁目 (41)0693 4-motomacia
⑧	ネクタイ	元町バザー	Motomachi Bazaar	元町通一丁目 (31)1401 1-motomachi
⑨	紳士服	三恵洋服店	Tailor Mituei	元町通四丁目 (41)7290 4-motomachi
⑩	男子洋品 紳士靴	神戸屋	Kobe-ya Men's Shop	元町通二丁目 (31)2589 2-motomachi
⑪	男子洋品	千秋堂	Senshudo	元町通四丁目 (41)6959 4-motomachi
⑫	男子洋品	フナキヤ	Funakiya	元町通三丁目 (31)3617 3-motomachi
⑬	紳士服	十字屋洋服店	Tailor Jujiya	元町通五丁目 (41)2938 5-motomachi
⑭	洋品雑貨	サノヘ	Sanohe	元町通二丁目 (31)4707 2-motomachi
⑮	ワイシャツ	神戸シャツ	Kobe Shirt	大丸前 (31)2168 In front of Daimaru
⑯	男子洋品	サカエ	Men's Shop Sakae	元町通二丁目 (31)7885 2-Motomachi
⑰	紳士服	洋服の粋 渡辺	Watanabe	センター街 (31)1650 Center-Gai
⑱	衣生活品	ニッケショールーム	Nikke Showroom	元町通三丁目 (31)0901 3 Motomachi
⑲	紳士服	神戸テーラー	Kobe Tailor	阪急西口・西 (3)2817 Hankyu west Exit
⑳	男の服飾	マック	Mac Men's Shop	三宮本店・トアロード店 新開地店・姫路店 Center-Gai
㉑	紳士服	シマキ洋服店	Tailor Shimaki	生田神社東門前 (3)8055-7950 Ikuta-higashimon
㉒	紳士シャツ	大和屋のシャツ	Yamatoya Shirt	センター街 (31)6958 Center-Gai
㉓	洋品雑貨	リリアン	Lilian Shop	センター街 (3)3567-3251 Center-Gai

*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
㉔	帽子	マキシン	Maxim	トアロード (31)6711 Tor Road
㉕	服飾雑貨	エスターニュートン	Esther Newton	トアロード (31)1818 Tor Road
㉖	洋品	スギヤ	Sugiya	トアロード (3)3436 Tor Road
㉗	ハンドバッグ	シラサ	Shirasa	元町通二丁目 (31)0813 2-motomachi
㉘	洋傘 ショール	オカダ	Okada	元町通三丁目 (31)0051 3-motomachi
㉙	洋装	マスヤ	Masuya	センター街 元町三 (31)2781 3-Motomachi
㉚	輸入服地	マルゼン	Maruzen	三宮一丁目5-3 (生田前筋) (3)0212 Ikuta, Street
㉛	繊維製品から化粧品まで	カネボウ	Kanebo Kobe Store	元町通四丁目 (41)3244 4-motomachi
㉜	婦人・紳士服飾	セリザワ	Serizawa	センター街 大丸前 (3)1695 Center-Gai
㉝	婦人服飾	マミー	Mami	センター街 (31)6304 Center-Gai
㉞	毛皮	うえだ毛皮店	Fur Ueda	元町通二丁目 (31)0686 2-motomachi
㉟	毛皮	ベニー毛皮店	Bennie Furrier (Furs)	国際会館一階 (22)3327 Kobe International House

*装身具・服飾品 Accessary・Dress

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
36	べっ甲	太田べっ甲	Ota Co. (Tortoise-shell ware)	元町通一丁目 (31)6195 1-motomachi
37	ハンドバッグ アクセサリー	イクシマヤ	Ikushimaya	元町通一丁目 (31)3415 1-motomachi
38	アクセサリー	芸夢	Geimu	トアロード (31)2293 Tor Road
39	婦人・紳士靴	クロス靴店	Cross Shoes	トアロード (3)0998 Tor Road
40	婦人・紳士靴	吉岡靴舗	Yosioka Shoes	大丸前 (3)5190 In front of Daimaru

*和装 Kimono. Geta

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
41	呉服	ちんがら屋	Chingaraya	センター街 (31)8836 Center-Gai
42	呉服	みよしや	Miyosiya	大丸前 (31)3388 In front of Daimaru
43	履物	まる喜	Maruki	センター街 (31)4478 Center-Gai
44	履物	丸福履物店	Marufuku	センター街 (31)4358 Center-Gai
45	衣裳	中川衣裳店	Nakagawa	センター街 (3)7524-5855 Center-Gai
46	衣裳	つるや衣裳店	Turuya	大丸前 (31)0360 In front of Daimaru

*美容 Beauty Shop

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
47	美容	美容室あきら	Akira Beauty Shop	三宮本通り (31)4461 Sannomiya Honduri
48	美容	ボヌール	Bonheur Beauty Saloon	元町通三丁目 (39)1176 3-motomachi
49	美容	マキシン美容室	Maxine Beauty Shop	三宮神社前 (31)4917 Sannomiya Jinja-Mae
50	コンタクトレンズ	国際コンタクトレンズ	International Contactless Laboratory	国際会館一階 (22)8161 Kobe International House

*美術・工芸品 Art

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
51	美術	元町画廊・若木屋	Motomachi Gallery	元町通一丁目 (31)2359 1-motomachi
52	画材・額縁	末積製額	Suezumi	トアロード (31)1309 Tor Road
53	工芸 アクセサリー	磯川工芸店	Isokawa	トアロード (3)3398 Tor Road
54	美術陶磁器	淡洲堂	Tanshudo	センター街 (31)1770 Center-Gai
55	新古美術	播新	Harishin	元町通三丁目 (31)2516 3-motomachi
56	陶器	つぼや	Tuboya	生田前筋 (3)0238 Ikutamae-Suji

*家具・家庭・文化用品 Furniture・Family

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
57	家具	永田良介商店	Nagata Ryosuke Shop	大丸前 (39)3737-9 In front of Daimaru
58	運動用品	ヤノスポーツ	Yano. Sports	トアロード (39)1121-3 Tor Road
59	家庭用品	刃物金物菊秀	Kikuhide Co., Ltd.	元町通二丁目 (31)0276 2-motomachi
60	玩具	カメヤ	Kameya Toy Store	センター街 (3)4969-0090 Center-Gai 3-motomachi
61	メガネ	神戸眼鏡院	The Kobe Optical Co., Ltd.	元町通三丁目 (31)3112 3-motomachi
62	カメラ	コヤマカメラ	Koyama Camera Shop	センター街 (31)0158 Center-Gai
63	儀式用品	冨田屋	Tomitaya	元町通四丁目 (4)2334-8927 4-motomachi
64	カバン	大上鞄店	One Trunk Co.	元町通一丁目 (31)3962 1-motomachi
65	カバン	高橋鞄本店	Takahashi	元町通三丁目 (31)1172 3-motomachi
66	家具	きつねの嫁入屋 福井商店	Fukui Furniture	センター街 (3)2701-2702 Center-Gai
67	電器製品	元町電機	Motomachi Electric Co., Ltd.	元町通六丁目 (4)3701-1217 6-motomachi
68	薬品	三星堂薬局	Sanseido pharmacy	元町通六丁目 (4)0330-3355 6-motomachi

*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
69	洋菓子 喫茶	風月堂	Fugetsudo	元町通三丁目 (31)0695 3-motomachi
70	瓦煎餅	亀井堂本家	Kameido Honke	トアロード (3)1616-0001 Tor Road
71	菓子	雁治郎飴本舗	Ganjiroame-Honpo	多聞通楠公前 (4)1242 Tamon-Dori
72	菓子・喫茶	寿本舗	Kotobuki-Honpo	阪急西口・北町二 (3)0381-1136 Hankyu-west
73	洋菓子 喫茶	ドンク	Donq	センター街 (39)5481-5 Center-Gai
74	チョコレート	モロゾフ	Morozoff	元町通二丁目 (31)3955 2-motomachi
75	洋菓子 喫茶	ユーハイム	Juchheim's	生田神社横 (3)1694 Ikuta Jinja west
76	洋菓子	ヒロタ	Hirota Confectionery	元町通三丁目 (31)2340 3-motomachi
77	洋菓子 喫茶	ユーハイムコンフェクト	Yuhaimu Confect	生田筋 (3)0356 Ikuta street
78	和菓子	二つ茶屋	Futatsuchaya	元町通三丁目 (31)0755 3-motomachi
79	菓子	本高砂屋	Hon-Takasagoya	元町通三丁目 (31)7367 3-motomachi
80	あられ おかき	花見屋	Hanamiya	元町二・生田筋 (3)2468-2470 2-motomachi
81	カステーラ	長崎堂本店	Nagasakido	元町通六丁目 (4)4130 6-motomachi
82	瓦煎餅	亀井堂総本店	Kameido Sohonten	元町通六丁目 (4)0006 6-motomachi
83	瓦煎餅	河南堂	Kanando	三ノ宮駅南側 (3)1061-3 St. Sannomiya-south
84	瓦煎餅	菊水総本店	Kikusui Sohonten	楠公社正門前角 (4)1382-1310 In front of Nanko

*和洋料理 Eating House

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
85	ステーキ	キングス・アームス	King's Arms Tavern	市役所前 (3)3774 Isobe-Dori
86	とんかつ ステーキ	もん	Mon	生田前筋 (3)0372 Ikutamae-Suji
87	鮨・日本料理	竹葉亭	Chikuyotei	阪急三宮 (3)1120 Sannomiya Hankyu
88	天婦羅	お可川	Okagawa	元町通三丁目 (3)6154 3-motomachi
89	ふぐ料理	一富士	Ichifuji	湊川トンネル東 (5)4580 Minatogawa
90	寿司	本成駒家	Hon-Narikomaya	三宮本通り (3)3836 Sannomiya honduri
91	とんかつ	武蔵	Musasi	センター街 (3)3771 Center-Gai
92	スペイン料理	カルメン	Carmen	阪急西口北 (3)2228 Hankyu-west Exit
93	ステーキ	ハナワグリル	Hanawa Grill	元町通五丁目 (4)6942 5-motomachi
94	ビヤホール	ニュー・トーキョー	New Tokyo	生田柳筋 (3)1422 Ikuta Yanagi Street
95	イタリヤ料理	イタリア	Italia Ristorante	生田筋 (3)0376 Ikuta street
96	鮨料理	蛸の壷	Takonotsubo	元町通一丁目 (39)1033 1-motomachi
97	レストラン	コラル キタノ	Coral Kitano	北野クラブ前上 (2)2251 1-Kitano-Cho
98	天ぷら・寿司	東栄弥	Higashi Sakaeya	三宮町二朝日会館前 (3)5772-5674 2-Sannomiya
99	寿司	又平	Matahei	生田神社前 (3)0933 Ikuta street

*クラブ・料亭 Night Club

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
100	料亭	松乃家	Matsu no ya	花隈 (4)2785-6788 Hanakuma
101	ナイトクラブ	北野クラブ	The Kitano Club	北野町 (2)2251 Kitano-Cho
102	クラブ	くらぶ花くま	Club Hanakuma	花隈 (4)5129 Hanakuma

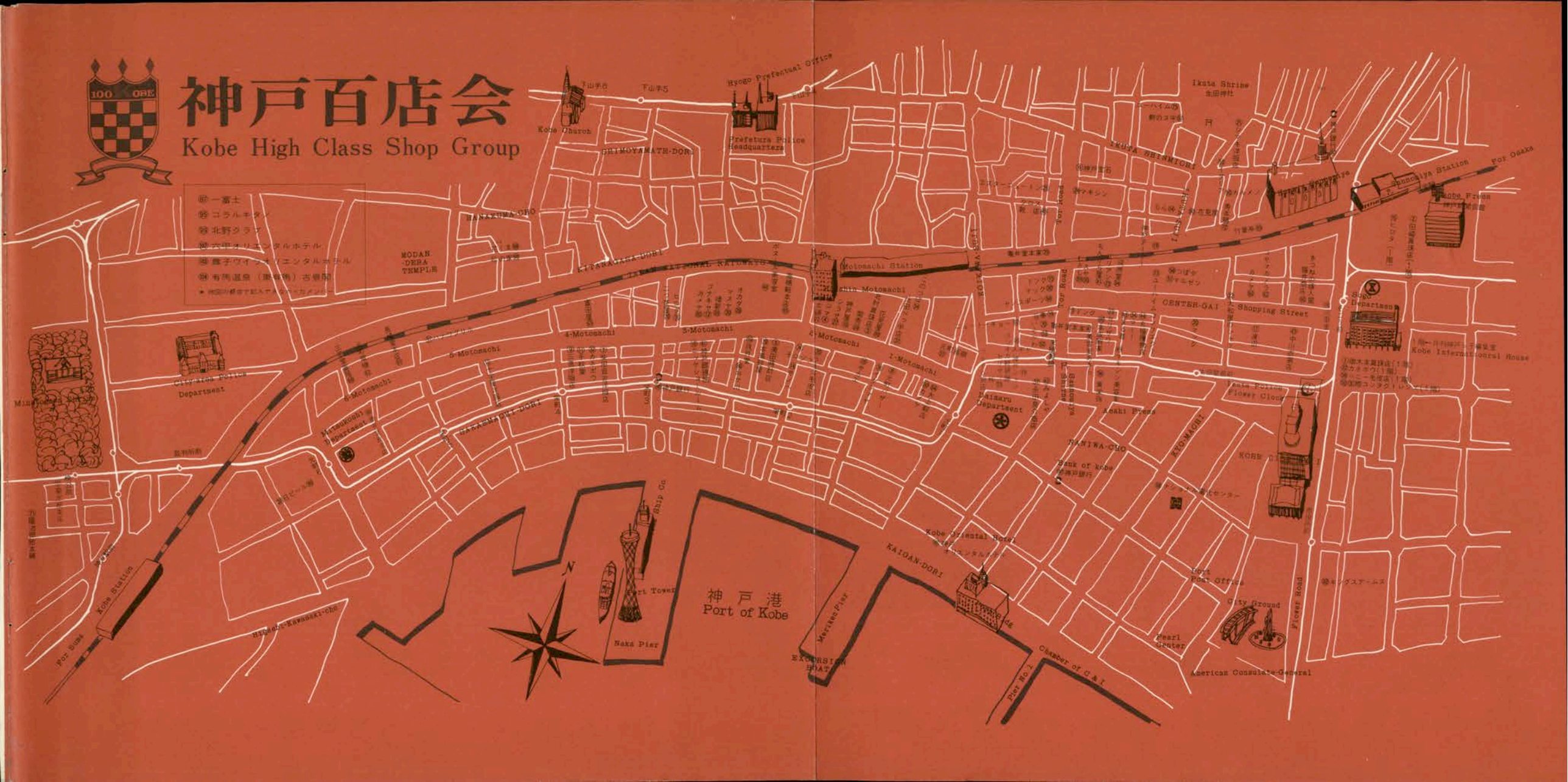
*ホテル Hotel

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
103	ホテル	神戸オリエンタルホテル	Oriental Hotel	海岸通六丁目 (3)7771 6-Kaigan-Dori
104	ホテル	六甲オリエンタルホテル	Hotel Rokko Oriental	六甲山 (89)0333-4 Mt. Rokko
105	ホテル	舞子ヴィラ オリエンタルホテル	Oriental Maiko Villa	舞子 (垂水)6001-3 Maiko
106	観光旅館	有馬温泉(東有馬)古泉閣	Kosenkaku	有馬 (有馬)423-4 Arima

*商社 Trading House

No.	業種	店名	Name	所在地・電話
107	ビール	朝日麦酒K.K	Asahi Beer	相生町 (4)7301 Aioi-Cho
108	電化製品	ナショナル電化センター	National Electric Center	京町筋 (39)8011 Kyomachi Suji
109	銀行	神戸銀行	Bank of Kobe	本店 生田区浪花町 (3)8101 代表 Naniwa-Cho

神戸百店会
Kobe High Class Shop Group



● 暮しの小切手　ホーム
チェック

● お子様のために　教育資金融資

神戸銀行

◆百店会でのお買物は神戸銀行のホームチェックをご利用ください

月刊「神戸っ子」
発行所／神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一　神戸国際会館一階　TEL 22七〇三七　頒価九〇円
昭和三十九年二月十日発行　毎月一回
凸版印刷株式会社印刷　編集発行／小泉康夫（送料30円）

新しい暮しのなかのラジオ

NATIONAL PANASONIC

ナショナル
松下電器

小さくても音・感度は一流
オフィスで、ご家庭で、あなたの机に……
応接室のテーブルに……贈り物に……
ピッタリのシャレた卓上トランジスタラジオです

6石トランジスタ〈パナペット〉
（イヤホーン・電池付）
現金正価 3,980円
月賦定価 4,200円